

船舶事故調査報告書

平成22年10月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委 員 横 山 鐵 男（部会長）
 委 員 山 本 哲 也
 委 員 根 本 美 奈

| | |
|---|--|
| 事故種類 | 乗組員行方不明 |
| 発生日時 | 不明（平成21年8月14日 12時40分ごろ～15日 08時30分ごろの間） |
| 発生場所 | 不明（長崎県五島市 ^{ひきか} 久賀島北方沖～久賀島黒埼の間） |
| 事故調査の経過 | 平成21年8月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で行方不明となったため行わなかった。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 漁船 ^{ゆうしゆん} 祐春丸、4.8トン KM3-51770（漁船登録番号）、個人所有 9.95m（Lr）×2.78m×1.30m、FRP ディーゼル機関、120kW（漁船法馬力数）、昭和58年5月 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 43歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和63年9月29日 免許証交付日 平成18年12月26日 （平成24年1月23日まで有効） |
| 死傷者等 | 行方不明 1人（船長） |
| 損傷 | なし |
| 事故の経過 | 本船は、平成21年8月15日08時30分ごろ、久賀島黒埼の岩場に、無人で乗り揚げているところを航行中の漁船によって発見された。 本船は、巡視艇により五島市福江港にえい航された。海上保安庁及び僚船等は、船長の捜索を行ったが、発見することはできなかった。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 東、風力 1 海象：海面 平穏 |
| その他の事項 | 本船は、熊本県天草市を主たる根拠地としていたが、例年8月から翌年の5月まで、五島市大串漁港を拠点にはえなわ漁を行っていた。 本船は、日ごろ、船長が1人で乗り組み、大串漁港を昼ごろ出港し、その日の20～21時に帰港する操業を行っていた。 船長は、8月13日08時33分ごろ、親族に16日佐世保港魚市場に水揚げができる旨を電話した。 本船は、14日12時40分ごろ、漁具を収納した状態で、久賀島北方沖を西方に向けて約10ノットで航行しているのが、他の漁船によって目撃された。 本船は、発見当時、航海灯を点灯し、機関が微速にかかった状態で、漁 |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>具が船内に収納され、いけすにはアラ5匹が入っており、船内には救命胴衣が無かった。</p> <p>本船の船体には、他船と衝突した痕跡は無かった。</p> | |
| 分析 | <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p> | <p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、船長が1人で乗り組み、14日12時40分ごろ久賀島北方沖を西進しているところを目撃され、翌15日08時30分ごろ、同島黒埼の岩場において、無人で乗り揚げているところを発見された。西進していた場所と乗揚場所との位置関係を考えると、12時40分ごろは船長が乗船していた可能性があることから、この間において、船長が落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、久賀島北方沖を西進したのち、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられる。</p> | |